

- 台風が近づいている！
- 川の水がどんどん増えてきている！
- 自宅がハザードマップの浸水想定区域にある！

★ 安全に避難するためには・・・！

## マイ・タイムラインの作成例

## 小学生向けの記載例

### 家族構成

4人家族【お父さん、お母さん、おじいちゃん、私(小学生)】

### 生活環境

自宅周辺は最大3メートルの浸水が想定される

※あくまで一例です。

自分用のマイ・タイムラインを作成するための参考としてご利用ください。

## 『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえをいつから行動するが、書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえが『マイ・タイムライン』だよ！

市・区・町・村	地区	家	マイ・タイムライン	作成年月日	年	月	日
3日前	行政から発出される情報 ■ 嵐：気象・水害情報 ■ 声：河川管理者 ○ 台風予報 ○ 台風に関する都道府県の気象情報(随時)	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで 台風が発生 天気予報で台風ができてきてるよ。 まだ雨や風は強くないね。	主な備え 台風について調べ始める ・てんきよほうを見る ・ハザードマップを見てどこにひなんするか確認する ・家族のこれからの予定を聞いてみる ・体温を測り、熱がないか確認する	台風の進む方向や、住んでいる地域にいつ、一番近づくのか確認してみましょう。 ハザードマップの見方がわからないときはおうちのの人に聞いてみよう。			
2日前	大雨注意報・洪水注意報 ○ 台風に関する今後の身だしなみ	台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる 雨や風が強くなる と、お出かけは大変だね。	避難する時に持っていくものを準備する ・マスクや消毒液、体温計、スリッパなどを 持っていく	たくさん持っていくと重くなってしまいます。本当に大事なものを選んでおきましょう。			
1日前	大雨警報・洪水警報 (上流域での大雨特別警報) 水防団待機水位到達 氾濫注意水位到達	雨が降まって、川の水がだんだん増える 自分がいるところで避けてなくても、上流で雨が降れば川の水は増えてくるよ。	住んでいる所と上流の雨の量を調べる ・テレビのdボタンを押して、調べる 川の水位を調べる ・ハザードマップをみて、近くの川を確認する ・インターネットで「川の防災情報」(国土交通省ホームページ)や「茨城県河川情報システム」(茨城県ホームページ)を見て、川の水位を確認する	テレビのデータ放送(dボタン)を使えば、いつでもいろいろな地域の天気やこの先の雨の量も確認できます。 川の水が増えていて危険です。川の様子はインターネットなどで確認し、見に行くことは絶対によめましょう。			
5時間前	避難判断断水水位到達 警戒レベル3 高齢者等避難	激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が溢れる このまま進めると、川の水があふれるかも。	避難しやすい服装に着替える ・動きやすいつをばく (・けいたい電話の充電をする)	・台風が接近すると、雨や風がより強くなります。早いうちにひな人を始めましょう。 ・市町村から警戒(けいかい)レベル3の「高齢者等避難(こうれいしゃとうひなん)」が発令されたらひな人を始める1つの目安です。			
3時間前	氾濫危険水位到達 警戒レベル4 避難指示	川の水位が上がる前に安全なところへ逃げなさい！ 避難先を確認する	安全なところへ移動を始める ・家族と一しょにひなんする 避難完了 (・家族にどこにひなんしたかを連絡する)	・テレビのデータ放送やインターネットなどでひなん所が開いているか確認しましょう。 ・家族が仕事で一しょにひなんできないときは、近所の人と一しょにひなんするなど、どのようにひなんするかを家族や近所の人と相談しておくことも大切です。			
0時間	氾濫が発生	川の水位が急激に上がって、街中が水びたし、このとき動けないぞ！	家族以外の人とひなんした場合は、ひなんした後に、どこにひなんしたかを家族に伝えましょう。	・熱がある時や気分が悪いときは、家族や一しょにひなんする人に相談しましょう。 ・マスクを着けてひなんしましょう。			

市町村が発令するひなん情報(警戒レベル3)です。

水が来るかもしれない地域に住んでいる人のうち、お年寄り等でひなんに時間がかかる人は早めにひなんしましょう。

市町村が発令するひなん情報(警戒レベル4)です。

水が来るかもしれない地域に住んでいる人は基本的に、全員が安全なひなん場所や親せきの家などへひなんしたり、2階以上の安全な建物にひなんするなど身を守るための行動をとりましょう。

※市町村がひなん情報を発令するタイミングはイメージです。本当の洪水時とはちがうことがあります。

※あくまで1つの例です。災害はマイ・タイムラインで考えたとおりに進むとは限りません。ひなんするためのさんこうと考へ、本当に災害が近づいている時は気象情報やひなん情報をこまめに確認し、適切にひなんしましょう。